

インドネシア
「グリーン・ウォール」の普及と拡大
現地からのお便り

2016年5月
コンサベーション・インターナショナル

モニタリングと森林再生の経過報告

公園レンジャーや地元コミュニティのみなさんと、木々を毎月モニタリングすることで、天候や害虫、人間の活動がどのように木々の成長に影響を与えているかを知ることができます。大きく成長した木は幼木よりも様々な要因に耐えることができます。

2016年1月のモニタリングで、300ヘクタールに植えられた12万本のうち、1万本が生きのびることができなかったことがわかりました。2月に1万本の新しい苗と植替えました。マгноリア科のマングリッド、フトモモ科のキシレウム、キョウチクトウ科のラメ、です。植える前にはいつものように、どう植えるか、技術面の確認をしました。



モニタリングの様子

組織力の強化

3月、組合メンバーのために、地元政府からトレーナーを招いて、製品と販売についての1日トレーニングを行いました。約30名が参加しました。その他にも公園スタッフのための生物多様性トレーニングも開催し、20名が参加しました。



左)組織力強化トレーニング、右)公園スタッフのためのトレーニング

取り組みの拡大にむけて

ダイキン社の支援によるグリーンウォールプロジェクトは、コミュニティが恩恵を受ける保全活動であり、既に多くの成果を挙げています。私たちは、成果を多くの方々に伝え、他の地域での活動に参加してくれる新たなパートナーを探しています。

2月には、ディズニーネイチャーの協力により、学校やコミュニティの環境教育を行いました。植樹や普及啓発を通じたワウワウテナガザルの保全プログラムやワウワウテナガザルの保護施設の支援を実施しました。



生徒たちによる植樹活動

メディアキャンペーンとコミュニケーションの強化

ダイキンインドネシアの方々が、2月にプロジェクトサイトを訪問し、森林再生地域や水道設備、コミュニティ、公園オフィスなどを視察しました。また是非お越し下さい！



ダイキンインドネシアの方々の訪問

看板

プロジェクトサイトの看板を毎月モニタリングしています。4枚のうち1枚に修理の必要が出てきたので、5月に修理をします。



2016年1月



2016年2月
看板一号



2016年3月



2016年1月



2016年2月
看板二号



2016年3月



2016年1月



2016年2月
看板三号



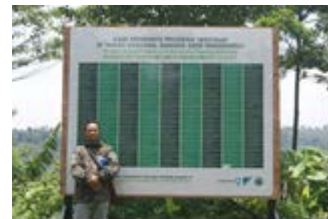
2016年3月



2016年1月



2016年2月
看板四号



2016年3月

パパリダン

「パパリダン」はスンダ族の言葉で、水に浮いている、という意味です。毎日の生活や農業、産業に欠かせない水は、観光客向けアトラクションにもなります。かんがい用システムの水路をタイヤに乗って進むアトラクションは、観光客にとっても人気があります。



左) パパリダンに使うタイヤ、右) パパリダンを楽しむツーリスト